

1. 科目名 (単位 数)	国際社会理解研究 I (2 単位)	3. 科目番号	EIIE4101
2. 授業担当教員	野口 芙美、大橋 真由美		
4. 授業形態	講義、議論、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本授業では、2 年次に履修した「国際社会理解入門」で紹介された「国境を越えた社会現象」の中で生きる人達の事例の中から個々に関心を持ったテーマを取り上げ、さらに理解を深めていきます。グローバル化が進み、社会や人間関係が複雑化する今、「他者を理解する」姿勢はこれまでになく重要となってきました。このように「他者を理解する」立場から問題提起をし、社会調査法を用いてその解決策を探ります。		
8. 学習目標	1. 国際社会問題について、意見を述べるができる。 2. 社会調査について説明ができる。 3. 個々の疑問を解くための具体的な方法を考え、研究計画が立てられる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	1. 授業は、毎回発表担当者が進行する。担当者はレジュメまたはPPTを準備しておくこと。担当者以外は事前配布資料等を読み、感想、疑問点などをまとめておく(事前課題)。授業後は授業または扱った文献の感想・コメント、質問を記入して提出する(事後課題)。 2. 研究計画書(研究テーマ、研究目的、調査対象及び調査方法を含む)作成する(第10回に研究計画書案を発表、フィードバックを踏まえ改善したものを第15回に再発表する)。 3. 参考文献リストを作成し、そのうち最も自身の研究テーマに参考となる文献について発表を行う(第11回～14回)		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】各講義で資料を配布する。 【参考書】谷富夫・山本努編著『よくわかる質的社会調査 プロセス編』ミネルヴァ書房、2010年 谷富夫・芦田徹郎編著『よくわかる質的社会調査 技法編』ミネルヴァ書房、2009年 住原則也ほか『異文化の学びかた・描きかた』世界思想社、2001年		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 国際社会問題について、意見を述べるできるようになったか。 2. 社会調査について説明ができるようになったか。 3. 個々の疑問を解くための具体的な方法を考え、研究計画が立てられるようになったか。 ○評定方法 1. 授業への参加意欲・態度 総合点の 30% 2. 課題(発表・レポート等) 総合点の 40% 3. 期末課題 総合点の 30% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生への メッセージ	本講義では、主に国内を中心とした国境を越えた社会現象を取り上げます。最先端の資料や論文を読み、どのようなことが明らかになっているか、またなっていないか、批判的な視点を養います。同時に、研究についての基本的な知識と方法についても学び、秋期に向けて自身の研究に必要な知識・スキルを身に付けます。自身がどのようなことに興味・関心を持っているか、国内・海外に目を向け考えながら参加してください。		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション、文献・資料の収集方法	事前学習	国際社会理解問題で興味・関心のあるテーマを探してくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 2 回	テーマの検討と文献検索	事前学習	興味・関心に沿ってキーワードを 3~5 考えてくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 3 回	文献発表①・発表者①	事前学習	興味・関心に近いテーマの文献を 1 つ選び、発表者は内容を紹介する。発表者以外は文献を読み疑問点等をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 4 回	文献発表①・発表者②	事前学習	興味・関心に近いテーマの文献を 1 つ選び、発表者は内容を紹介する。発表者以外は文献を読み疑問点等をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 5 回	研究計画発表、参考文献リスト発表	事前学習	簡単な研究計画書・参考文献リストを作成する。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 6 回	文献発表②・発表者①	事前学習	先行研究となる文献を 1 つ選び、発表者は内容を紹介する。発表者以外は文献を読み疑問点等をまとめておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第 7 回	文献発表②・発表者②	事前学習	先行研究となる文献を 1 つ選び、発表者は内容を紹介する。発表者以外は文献を読み疑問点等をまとめておく。

		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第8回	研究計画検討①	事前学習	第5回でのフィードバックを受け、研究計画を改善する。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第9回	研究計画検討②	事前学習	第8回でのフィードバックを受け、研究計画を改善する。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。フィードバックを踏まえ、研究計画を修正する。また、修正した計画に沿って文献を再検索し、リストを作成し直す。
第10回	文献リスト発表、先行研究まとめ	事前学習	参考文献リストを作成し、先行研究をまとめる
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第11回	研究方法検討①	事前学習	研究方法を具体的に検討してくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第12回	研究方法検討②	事前学習	11回のフィードバックを踏まえ、研究方法を改めて検討してくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第13回	分析データ収集・作成 アンケート	事前学習	研究のためのデータ収集の準備を行う。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	分析データ収集・作成 インタビュー	事前学習	研究のためのデータ収集の準備を行う。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第15回	研究計画最終発表・国際社会理解研究のまとめ	事前学習	最終的な研究計画書・参考文献リストを作成する。これまでの内容を振り返り、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	フィードバックを踏まえ、研究計画を見直し計画書を完成させる。